

○新たな施策の要望又は提案を求めるもの(要望)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (. . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の <u>要望</u> 又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ^{※注} <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	林野庁 研究・保全課
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	林務部 森林づくり推進課
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	15 広域連携による松くい虫被害対策について		
提案市	安曇野市		
提案要旨	<p>被害木の駆除を行い防除を進めているが、被害の全量駆除が出来ないため、市内全域に拡大している。</p> <p>国・県及び被害隣接市町村が一丸となり、より効果的な防除方法や技術開発等を検討・推進できる広域的な体制づくりを要望する。</p>		
提案理由	<p>当市の赤松林は、安曇野らしい景観や急峻地の山腹保全などに重要な役割を果たしている。</p> <p>現在は、被害市町村が地区実施計画に基づき防除や駆除を実施しているが、被害は拡大している。</p> <p>マツノマダラカミキリは数百メートルから場合によっては1から2キロメートル移動すると云われていることから、隣接市町村が団結し、国の情報や財政支援を頂きながら、被害市町村連携による防除対策が行える体制づくりが必要である。</p>		
現況及び課題等	<p>伐倒くん蒸・破碎・焼却などにより被害木の駆除を行なっているが、平成24年度の被害量は4,784m³で、内3,054m³を駆除し、1,730m³は駆除出来ない結果であった。</p> <p>松枯れの病原体であるマツノザイセンチュウを運ぶマツノマダラカミキリの生息域が拡大している。(標高900m付近での被害も確認)</p> <p>急傾斜地の被害木は危険が伴うため、伐倒駆除ができない。</p>		
関係法令	森林病虫害等防除法		